

新たな北海道総合開発計画に関するシンポジウム ～「ほっかいどう学」の展開に向けて～

- ・日時 平成29年3月21日（火）14:30～17:00
- ・場所 札幌第一合同庁舎 2階講堂

プログラム

- ◇ 開 会
- ◇ 主催者挨拶
国土交通省北海道開発局開発監理部次長 原 俊哉
- ◇ 事務局説明
「新たな北海道総合開発計画に位置付けられた『ほっかいどう学』の概要等」について
国土交通省北海道開発局開発監理部開発計画課長 竹原 勇一
- ◇ 基調講演Ⅰ
「北海道をつくった技術者たちの“ノブレス・オブリージュ”」
ノンフィクションライター、編集者 北室 かず子 氏
- ◇ 基調講演Ⅱ
「ほっかいどう学のすすめ」
札幌市立発寒西小学校校長 新保 元康 氏
- ◇ パネルディスカッション
「ほっかいどう学」の展開に向けて
コーディネーター
・一般社団法人北海道開発技術センター理事、地域政策研究所長
原 文宏 氏
パネリスト（※五十音順）
・ノンフィクションライター、編集者 北室 かず子 氏
・国立大学法人北海道教育大学教育学部准教授、同学校・地域教育
研究支援センター 生涯学習・地域連携部門長 今 尚之 氏
・札幌市立発寒西小学校校長 新保 元康 氏
- ◇ 閉 会

■主 催：国土交通省北海道開発局

■後 援：北海道、北海道教育委員会



講師及びパネリスト略歴



ノンフィクションライター、編集者

きたむろ

北室 かず子 氏（講師・パネリスト）

徳島県出身。1991年から札幌市在住。JR北海道の車内広報誌「THE JR Hokkaido」のライターとして、北海道の幅広い魅力を伝えているほか、「学校では教えない日本地図の不思議100」や「18章でつづる北海道 赤れんが庁舎物語」、「いとしの大衆食堂」などの著作多数



札幌市立発寒西小学校校長

しんぼ もとやす

新保 元康 氏（講師・パネリスト）

北海道小樽市出身。札幌市立小学校や附属札幌小学校勤務を経て、2015年から現職。学校教育への雪の活用に取り組む「北海道雪プロジェクト」を設立したほか、交通環境学習の推進、校務支援システムの導入による校務の情報化など、教育の現場において幅広い分野で様々な取組を行っている。



一般社団法人北海道開発技術センター理事、地域政策研究所長

はら ふみひろ

原 文宏 氏（コーディネーター）

北海道赤平市出身。首席研究員、企画部長を経て、2003年から現職。専門は冬期交通対策、モビリティ・マネジメント、社会的ジレンマと態度行動変容、観光・景観と地域づくりなど。北海道や市町村の委員等のほか、（一社）シーニックバイウェイ支援センター代表理事、（公社）土木学会「土木と学校教育会議」検討小委員会委員、北海道医療大学心理科学部非常勤講師なども歴任



国立大学法人北海道教育大学教育学部准教授、
同学校・地域教育研究支援センター 生涯学習・地域連携部門長

こん なおゆき

今 尚之 氏（パネリスト）

東京都出身。北海道教育大学生涯学習教育研究センター助教授等を経て、2008年から現職。生涯学習等専門職員養成にも携わる。日本の近代フロンティアにおける社会基盤整備や地域開発、地域の人々の生活の記録の保存、利活用に向けたシステム研究のほか、生涯学習としての郷土学習などにも取り組む。